

各関係機関長 殿

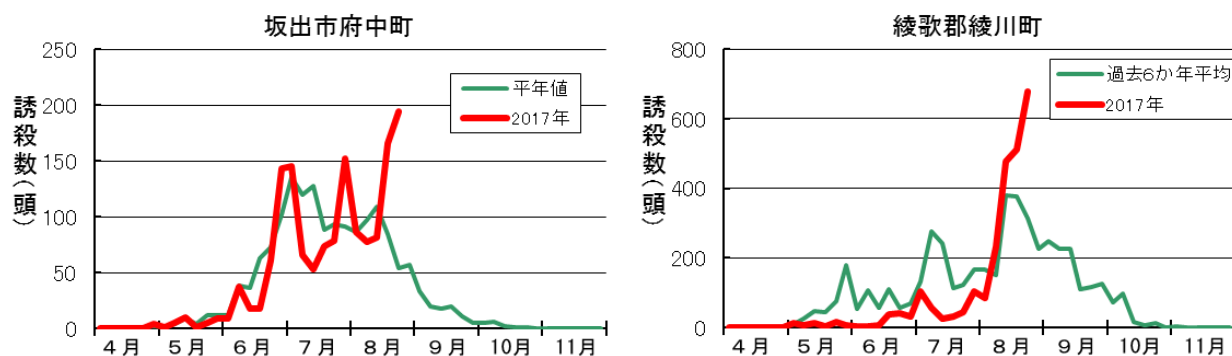
香川県農業試験場病虫害防除所長
(公印省略)

平成 29 年度病虫害発生予察注意報第 4 号について

このことについて、次のとおり発表したのを送付します。

平成 29 年度 病虫害発生予察注意報 第 4 号

1. 病虫害名： 果樹カメムシ類
2. 対象作物： カキ、キウイフルーツ、カンキツ等
3. 発生が予想される地域： 県下全域、特に山林隣接園
4. 発生程度： 多
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 県予察圃場の予察灯での 8 月の第 4 半旬および第 5 半旬のカメムシ類（主要 4 種）の誘殺数は、坂出市府中町で平年の 2.6 倍（本年：360 頭、平年：138.7 頭）、綾歌郡綾川町で過去 6 か年の平均の 1.7 倍（本年：1,191 頭、過去 6 か年平均：692 頭）と多かった（第 1 図）。
 - 2) 8 月下旬に実施したカキの被害調査では、発生圃場率は 33.3%（平年：16.7%）、被害果率は 3.8%（平年：2.7%）であり、発生量は多かった（第 1 表）。
 - 3) 今後、県下主要果樹のカキ、キウイフルーツ、カンキツ等で被害の多発生が懸念される。



第 1 図 県予察圃場の予察灯でのカメムシ類の誘殺状況
(坂出市府中町の予察灯については、8 月 10～13 日欠測)

第1表 カキの果樹カメムシ類の被害発生状況

発生圃場率 (%)						被害果率 (%)					
年度/月旬	6月 中旬	7月 中旬	8月 下旬	9月 下旬	10月 下旬	年度/月旬	6月 中旬	7月 中旬	8月 下旬	9月 下旬	10月 下旬
2007		0.0	16.7	50.0	50.0	2007			1.7	4.8	10.0
2008		0.0	38.9	61.1	66.7	2008			1.2	22.2	21.5
2009		0.0	0.0	22.2	11.1	2009				1.5	12.5
2010		0.0	0.0	22.2	55.6	2010				2.2	3.2
2011		0.0	0.0	16.7	13.3	2011				2.0	3.0
2012		0.0	38.9	61.1	55.6	2012			3.7	3.3	15.1
2013		0.0	0.0	22.2	50.0	2013				4.5	7.9
2014		27.8	55.6	61.1	52.9	2014		0.9	6.9	18.9	15.2
2015	5.6	11.1	11.1	27.8	22.2	2015	1.0	1.0	1.0	6.0	11.0
2016	0.0	0.0	5.6	16.7	27.8	2016			2.0	3.0	7.4
2017	0.0	0.0	33.3			2017			3.8		
平年値	2.8	3.9	16.7	36.1	40.5	平年値	1.0	0.9	2.7	6.8	10.7

6. 防除対策

- 1) 圃場内をよく観察し、被害果実やカメムシ類の発生が見られる場合は、早急に防除を実施する。特にスギ、ヒノキ等が周辺に多い圃場や、過去に被害が認められた圃場では注意する。
- 2) 多発してからの防除は防除効果が劣る場合があるので、発生初期の防除を徹底する。
- 3) 成虫は夕方に飛来し夜間加害するので、薬剤散布は夕方に広域かつ一斉に行うと効果的である。
- 4) 黄色蛍光灯は、チャバネアオカメムシには忌避効果があるが、ほかのカメムシ類には効果がないので注意する。
- 5) 薬剤の特徴は、有機リン剤は速効性だが残効が短い。合成ピレスロイド剤は残効が長く殺虫効果だけでなく吸汁阻害効果があるが、天敵に影響を及ぼすため連用するとカイガラムシやハダニ類が急激に増加することがあるので注意する。ネオニコチノイド剤は殺虫効果は有機リン剤や合成ピレスロイド剤より劣るが吸汁阻害効果があり残効も長い。
- 6) 防除薬剤は、香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針や果樹研究同志会が発行している果樹病害虫防除暦等を参考にする。
- 7) 作物によって、登録のある薬剤が異なるので、使用にあたってはラベルをよく読んで、登録の有無や収穫前日数、使用回数等使用基準を遵守する。

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>